

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課

担当名：推進担当

内線：3776

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B20	先端産業創造推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令				戦略項目	07 世界水準の中小企業		
						分野施策	030102 新たな成長を導く次世代ビジネスの振興		
1 事業の概要 国内に付加価値の高い先端産業を育成するため、研究機関や企業、大学等の先端技術に関する人材・技術・情報を集結させ実用化開発・製品化開発を推進し、産業活性化、雇用創出、税収増加に結びつける。 (1) 先端産業研究サロン等運営事業費 △2,809千円 事務経費の節減により生じた減 (2) 先端産業創造産学官交流事業 △1,292千円 事務経費の節減により生じた減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 先端産業研究サロン等運営事業 24,020千円 先端産業研究サロンの運営(3回) 先端産業に関する市場調査・普及啓発 イ 先端産業創造産学官交流事業 1,442千円 先端産業創造に向けた産学官交流会の開催 ウ 先端産業支援センター運営事業 2,400千円 先端産業に取り組む事業者を支援するサポートセンターを設置(新都心ビジネス交流プラザ) (2) 事業計画 平成26年度～ 先端産業研究サロンの開催 平成27年度～ 産学官交流会、先端産業支援センター設置・運営、先端技術・製品開発補助による支援 平成28年度～ 先端産業研究サロンの開催、産学官交流会、先端産業支援センター運営、企業PR (3) 事業効果 先端産業に関する人材・技術・情報が結集することで、実用化開発・製品化開発が活性化し、先端産業の創造・育成に寄与できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 大学、研究機関(産業技術総合研究所、NEDO、理化学研究所等)、民間シンクタンクなどと連携し事業を推進する。 イ 県内の中小企業や大学、研究機関(産業技術総合研究所、NEDO、理化学研究所等)、団体等と連携し事業を推進する。 ウ 埼玉県産業振興公社と連携して事業を推進する。 (5) 補正予算の概要 (1) 先端産業研究サロン等運営事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額 (2) 先端産業創造産学官交流事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,101	繰入金	諸収入					0	23,761
現計額	27,862	27,504	358					0	